

町内PTA主体による学習習慣形成のためのパンフレット制作・活用の取組 ～氷川町PTA連絡協議会～

自ら計画を立てて学習できる子供の育成に向けて、家庭でどのように子供に関わればよいかを、町内5校のPTA（氷川町PTA連絡協議会）が協力してパンフレットを制作し、町内全ての小中学校で活用している。

【氷川っ子 共に学び育む家庭学習の取組】

環境を整えよう

小学校編

- ★机の整理（勉強ができる準備をしよう）
- ★筆箱の整理
鉛筆、消しゴム、定規は揃っていますか。



学習の取組

- ★～ながら勉強の抑止（集中力をつける）
- ★家庭学習の習慣作り
- ★続ける内容を決めよう（自主学習のサポート）

親の応援

- ★子供がヤル気になる声かけ（魔法の言葉）
- ★一緒に取り組もう
（宿題のチェックで学習内容に関わろう）
- ★今日の出来事を聞いてみよう
（子供のことをもっと知ろう）

自分から
はじめたね！

成長して
いるね！

がんばっ
てるね！




子供の学習習慣形成のために保護者がどのように関わればよいかという視点で、発達段階に応じてパンフレットにまとめています。「熊本の学び推進プラン」も参考にし、子供をやる気にさせる学習環境づくりや保護者の声かけのポイント等が掲載されています。

保護者が主体となって作成しているので、子供の実態を捉えたものになっており、家庭での学習への働きかけにつながっています。また、小学校編・中学校編が両面印刷で作られており、子供の成長に合わせて活用することができます。

タブレットを活用した家庭学習を進める中で、家庭学習の習慣化や主体的な学習につなげる取組

～菊陽町立菊陽中部小学校～

児童がタブレット端末を自宅に持ち帰り、自ら課題に取り組んだり、ドリルの宿題を行ったりすることで、「家庭学習の習慣化」を目指しています。

① ミニトマトのせいちょうのきろく 家にもちかえたミニトマトのようすをしゃしんをとってきろくしましょう。カメラはスカイメニューのカメラをつかきましょう。	
② みの回りからかさのたんいを見つけよう 算数の「かさ」の学しゅうで、L・dL・mLなどのかさのたんいを学しゅうしました。みの回りからかさのたんいが書かれているものをさがして、スカイメニューのカメラでしゃしんをとりましょう。	
③ ドリル「きわめる！なつ」のふろくコンテンツ スカイメニューの「QRコードリーダー」をつかって、QRコードを読みとりましょう。国語や算数のをもんだいにこたえながら学しゅうすることができます。	
④ 「わくわく算数2」のデジタルコンテンツ 算数の教科書のデジタルコンテンツです。ひっ算のやり方やものさしのつかい方などのどうがを見たり、もんだいにこたえたりしながら学しゅうすることができます。	
⑤ 学びポケットの「イーボード」 漢字や算数の学しゅうができます。どうがを見て、もんだいにこたえましょう。1年生の学しゅうのふくしゅうもすることができます。夏休みの間に、これまでの学しゅうをかんべきにしましょう。	

【家庭学習の課題例】

①の課題では、家庭に持ち帰ったミニトマトの成長を継続して記録させることができます。

また、②の課題では、日常生活の中から身の回りのかさの単位を探し、算数の学習と日常生活の関連を深め、算数を主体的に学ぶ態度を育成します。

③、④、⑤の課題では、自分のペースで自分の学びに合った学習をすることができます。特に⑤のアプリでは、下学年の問題で復習をすることもできます。児童は自分の進度に応じた学びをすることで家庭学習への意欲が高まり、主体的に学習を進めるようになっていきます。

「主体的な家庭での学び」「家庭と学校のつなぎ」に向けたICTの活用 ～上天草市立登立小学校～

タブレット端末の持ち帰りによる家庭学習での活用が、児童の学習意欲につながっている。

登立小学校の児童は、家庭学習における1つの教材として、ドリルソフト等を活用しています。タブレット端末の持ち帰りの日には、端末に保存している国語、算数、社会、理科の4教科の教材の中から学習内容を選び、主体的に、自分のペースで取り組んでいます。採点機能を活用することで、理解状況をその場で確認したり、保存機能を活用することで、記録の積み重ねを振り返ったりすることができ、児童の達成感につながっています。

現在、コロナ感染や感染不安等による長期欠席児童に対して、タブレットを配付し、Teamsを使ったオンラインで授業に参加できるようにしています。

今後は、児童の取組に対する通信を利用した評価（赤ペンの返信、進捗状況に対するコメントなど）や、保存された記録の活用、見届けと定着に向けたフォローなどの取組を進めていく予定です。※上天草市では、すべての小中学校のタブレットにアプリ「ドリルパーク」をインストールしています。

また、朝の家庭からの連絡（体温等）では、連絡帳に代わる連絡手段として、ICTを活用しています。これまでの手作業から、ワンクリックによる一覧表への整理ができ、業務改革にもつながっています。



義務教育9年間のスタートからゴールまでを見据えた「主体的に学び続ける力を育てる」家庭学習を促進する取組

～和水町立菊水小学校・菊水中学校～

「家庭学習指導計画」を全ての児童生徒に配付し、学校と家庭が協力しながら家庭学習の充実を図っている。

9年間のゴールの設定「家庭学習で主体的に学び続ける力を育てる」菊水中学校区指導計画

	時間目標	主な学習内容	家庭での関わり方	先生の関わり方
充実・発展期	<p>150分 進路実現のために学力を!</p> <p>120分 苦手な問題に挑戦!</p>	<p>8年にプラス 入試問題を毎日3問以上解く</p> <p>7年にプラス 入試問題を毎日1問以上解く</p>	<p>自主学習ノートの内容によってより効果的な関わりを願います。</p> <p>① お子さんが頑張っているのを知っていることを伝えてあげてください。 ② 1週間に1度は、自主学習ノートをチェックしてください。やりきっていたら、しっかりと評価をしてください。 ③ 毎日自主学習ノートをチェックしてあげてください。丁寧な字で、最後までやっているか確認し、やりきれぬような声掛けをお願いします。評価も忘れずに。</p>	<p>○入試問題を準備し、自分に合った進路実現のための学力を育てます。 ○工夫している自立ノートを紹介し、自分のノートに活かせるよう取り組みます。</p> <p>○既習事項で解ける入試問題を準備し、自分に合った課題に対応できる学力を育てます。 ○工夫している自立ノートを紹介し、自分のノートに活かせるよう取り組みます。</p>
習熟・持続期	<p>90分 苦手な問題に挑戦!</p> <p>60分以上+ 10分以上読書 苦手なところを克服!</p> <p>50分以上+ 10分以上読書 興味のあることや 苦手な問題に挑戦!</p>	<p>6年にプラス 予習教科書を読みわからないところを調べる等 復習ノートやワークで大切なところを確認</p> <p>5年にプラス 間違えたところ苦手なところを何度も解いて身に付ける</p> <p>4年にプラス 間違えや苦手なところの問題と答えを3回ずつ書く</p>	<p>※問題も答えだけでなく、考え方や途中の式等も書くようにアドバイスしてください。考える力が伸びます。</p>	<p>○英語、数学については、毎授業時間の予習と復習を行うよう指導します。 ○入試に対応できる丁寧な文字で書くよう指導します。 ○工夫している自立ノートを紹介し、自分のノートに活かせるよう取り組みます。</p> <p>○授業中に既習内容を取り入れ、苦手なところを復習できる機会を増やします。 ○苦手な問題に取り組んでいることをしっかりと評価し、わかるまで考える粘り強さを育てます。 ○苦手を克服した児童を紹介し、みんなで勉強方法を共有します。 ○苦手をなくすことで、学習面の中1ギャップを解消します。</p>
基礎・基本期	<p>40分以上+ 10分以上読書 自主学習名人になろう</p> <p>30分以上+ 10分以上読書 自主学習にちょう戦</p> <p>25分以上+ 10分以上読書 ならったことをもう一度</p> <p>20分以上+ 10分以上読書 しゅくだいをやりきろう</p>	<p>3年にプラス 翌日の授業内容から一つ調べ学習をする</p> <p>2年にプラス 翌日の授業の本読みと言葉調べをする</p> <p>1年にプラス 授業中にやった問題をもう一度やる</p> <p>「ほんよみ・どくしょ」を毎日する</p>	<p>・わからない漢字等があるときは、線を引いておくようアドバイスしてください。 翌日の授業で習ったときに定着しやすくなります。</p> <p>・言葉調べは、辞書を引くよう声をかけてください。</p> <p>・調べ学習では、「〇〇ってなあに？」と一つだけ質問してあげるのも手助けとなります。</p> <p>・きちんとできたら、自主学習ノートにサインをして、頑張ったことをほめてください。</p> <p>・勉強の始めと終わりの時間を確認しましょう。時間いっぱい学習する習慣をつけてあげてください。</p> <p>・今日学校で勉強したことについて、きいてあげてください。</p> <p>・きちんとできたら連絡帳にサインをしてください。</p> <p>・がんばったことをほめてください。</p>	<p>○第4学年から、工夫されているノートを第3.4学年に紹介します。どんな自主学習をすればよいかをお互いに学べる取り組みをします。 ○言葉調べや調べ学習の内容を日々の授業に活用します。</p> <p>○必ずやりきらせる指導をします。 ○がんばったことは、しっかりと評価します。 ○工夫しているノートをクラスで紹介します。</p>

「時間目標」と「主な学習内容」については、発達段階に合わせ、各学年で検討し設定しています。また、「前学年にプラス」を設定することで、より充実した内容になるようにしています。

「家庭での関わり方」「先生の関わり方」を明示することで、保護者への家庭学習に対する関心と意識の高揚を図りながら、家庭と学校が協力して取り組んでいくという姿勢を大事にして取り組んでいます。

9年間の系統立てた取組により、見通しをもって、主体的に学び続ける力の育成につながっています。

家庭学習のめあてを設定した「家庭学習のてびき」による学習環境の整備および自主的、計画的な学習を目指す取組
～山鹿市立三岳小学校～

「がんばれ！三岳っ子 家庭学習の手引き」を活用し、学習に向かう態度を養うとともに、発達段階に応じた学習の仕方や留意点を子供・学校・家庭が共通理解し、自主的、計画的な学習を目指して、学校総体として取り組んでいる。

がんばれ！ 三岳っ子！
かてい学しゅうのてびき 1・2年

かてい学しゅうのめあて
「いえでも べんきょうを がんばるぞ」のきもちをもって、きめられたことはまいにち かならず ていねいにしましょう。

学しゅうじかんのめやす
1ねんせい 20分いじょう
2ねんせい 30分いじょう


★ かてい学しゅうをはじめるまえに・・・
① べんきょうをはじめるじく・おわるじくをきめましょう。
② いつもきまったばしょで、べんきょうしましょう。
③ べんきょうするばしょ(つくえの上やまわり)をきちんとかたづけましょう。
④ テレビやゲーム、けしきましょう。

さあ、べんきょうをはじめよう！！
① **まず、きめられたしゅくだいをきちんとおわらせる。**
○おんどく
・ゆつくり、はつきり、きもちをこめて、まらすらとよめるように
・うちのの人にきいてもらって、サインをもらおう
○かん字、けいさん、プリント、にっき など
・えんぴつのもちかたにきをつけて、せすじをばして、ただしいしきいでかく。もじは、かきじゅんにきをつけて、ていねいにかくこと。
・ならったかん字はつかう。おわったらかならず、見なおす。

② 「すすんでべんきょう」にも、とりくむ。

かてい学しゅうのめあて
・きょう べんきょうしたところを もういちど よんだり、だいじなことを ノートにかいたりする。
・ひらがなやかたかな、かんじ、たしざん、ひきざん、かけざん九九などをくろくかえてなんどもれんしゅうする。
・ししゃをする。(文しょうをうつす。)

★ 学しゅうがおわったら・・・
① べんきょうしたものを、おうちのひとにみてもらおう。
② あしたのじゅんぴをする。
・じかんわりをみて、もっていくものをよいうりする。
・えんぴつをけすって、ぶでほにきちんと入れる。(けすったえんぴつ5～6ほん、けしゴム、じょうぎ、あかえんぴつ1ほん)、ネームペン



がんばれ！ 三岳っ子！
家庭学習のてびき 3・4年

家庭学習のめあて
きちんと学習の時間を決めて、ていねいにとりくみ、しゅくだいのほかに自分でできることを考えて、進んでやってみましょう。

学習のめやす
3年生・・・40分以上
4年生・・・50分以上


★ 家庭学習を始める前に・・・
① 勉強を始める時こく・おわる時こくを決めましょう。
② 勉強する場所(つくえの上やまわり)をきちんとかたづけましょう。
③ テレビやゲーム、音楽はスイッチを切りましょう。
④ れんらくちょうを見て、学校からのしゅくだいをたしかめましょう。

さあ、勉強スタート！！
① **まず、決められたしゅくだいをきちんとおわらせる。**
○首読→正しく、はつきり、気持ちよこめて、まらすらと読めるように
○漢字、計算、プリント、日記、ノートのしあげなど
・文字はていねいに、習った漢字は使う。ノートは学校で決められた使い方をまもって使う。おわったら、かならず見直すようにする。

② 「進んで勉強」に取り組み。

かてい学しゅうのめあて
・学校で勉強したところをもう一度読んだり、大切なことをノートにまとめたりする。(復習)
・学校の勉強でまちがえた問題や、よくわからなかった問題を、もう一度やりなおす。
・学校で勉強したことをもとにして、もっとくわしく調べたり、むずかしい問題にチャレンジしたりする。(発展)
・漢字や計算などを、時間や回数を決めてノートにれん習する。
・新しく習う漢字の読みや言葉の意味調べをする。
・家庭学習メニューから選んで、にがてな勉強にちょうせんしたり、とくいなことをばしたりする。
・他にもいろいろ自分で考えてみましょう

★ 勉強が終わったら・・・
① 学習したものを、お家の人に見てもらおう。
② 明日のじゅんぴをする。
・時間割を見て、ひつような物をたしかめる。
・もっていく物、筆箱を用意する。
・けすったえんぴつ5～6本、消しゴム、じょうぎ、赤えんぴつ1本、ネームペン
③ 勉強した場所をきちんと整える。



がんばれ！ 三岳っ子！
家庭学習のてびき 5・6年

家庭学習のめあて
決められた課題はていねいに仕上げ、その他に「今必要なこと」「自分に必要なこと」を考え、計画的に進めていきましょう。

学習時間のめやす
60分以上


★ 家庭学習を始める前に・・・
① きょうの勉強の開始時刻・終了予定時刻を確認しましょう。
② 勉強する場所(机の上やまわり)をきちんとかたづけましょう。
③ テレビやゲーム、音楽はスイッチを切りましょう。
④ 連絡帳を見て、学校からの課題を確認しましょう。

さあ、勉強スタート！！
① **まず、決められた課題(宿題など)をきちんとおわらせる。**
○首読→正しく、はつきり、気持ちよこめて、まらすらと読めるように
○漢字、計算、プリント、日記、ノートの仕上げなど
・文字はていねいに、習った漢字は使う。ノートは学校で決められた使い方を守って使う。終わったら、かならず見直すようにする。

② **進んで勉強に取り組み。**

かてい学しゅうのめあて
・学校で勉強したところをもう一度読んだり、大切なことをノートにまとめたりする。(復習)
・学校の勉強でまちがえた問題や、難しかった問題を、もう一度やり直してみる。(復習)
・学校で勉強したことをもとにして、もっとくわしく調べたり、難しい問題にチャレンジしたりする。(発展)
・次の時間に勉強するところを読み、わからないうちに印をつけておく。(予習)
・漢字や計算などを、時間や回数を決めてできるだけ速く正確にできるように練習する。
・苦手な勉強も得意な勉強も自分で計画を立てて取り組む。
・他にもいろいろ自分で考えてみましょう

★ 勉強が終わったら・・・
① 学習したものをお家の人に見てもらおう。
② 明日の準備をする。
・時間割チェック
・もっていく物、筆箱の中身(けすったえん筆5本以上、消しゴム、じょうぎ、赤ペン1本、蛍光ペン1本)チェック
③ 勉強した場所をきちんと整える。



「家庭学習のてびき」では、発達段階に応じためあてを明らかにし、自主的で計画的な学習習慣の育成を目指します。

また、学習時間も発達段階を考慮し設定します。「学習を始める前に」や「学習が終わったら」等の項目では、学習環境を整えることについても示しています。

字を丁寧に書くこと、見直すことなどについても、全員で共通実践ができるようにしています。

手引きを活用することで、学習内容の確認や学校が目指す学習態度等について家庭と共通理解ができ、連携した家庭学習の取組になっています。

家庭と連携し、児童の家庭学習の充実と習慣化を図る取組
～津奈木町立津奈木小学校～

学年ごとに「家庭学習の手引き」を、低学年・中学年・高学年ごとに「家庭学習（自学ノート）6つの約束」を作成し活用している。

6年生 家庭学習の手引き
津奈木町立津奈木小学校

毎日の学習の時間(70分)以上 宿題 + 自主学習

学年×10+10分

1 家庭学習の目的

- (1) 学校で学んだことを確実に定着させます。
- (2) 自主ノートを作成することで、「自主学習の習慣」をつけます。
- (3) 決まった時間に家庭学習することで、「生活のリズム」を整えます。

2 家庭学習をする時の約束

- (1) 決まった時間にやるようにしましょう。
- (2) テレビをつけずに、集中した環境でしましょう。
- (3) ていねいな字で書きましょう。
- (4) 日記は、習った漢字を使いましょう。
- (5) らつづけ及びまちがいを直し、しっかりしましょう。
- (6) 学習したものは、お家の人に見せましょう。



3 学習内容

☆基本の家庭学習(4点セット)

- ① 漢字スキル・漢字ノート・計算の学習など
- ② 算数のプリント(国語、社会、理科の時もあります)
- ③ 音読(教科書で習っているところなど)
- ④ + チャレンジタイム!! 自分で考えて頑張ろう! 自学タイム!!!

4 6年生の自学メニュー(例)

国語:漢字練習、熟語で短文づくり、辞書で調べる、日記、作文
算数:授業の復習、計算問題、問題づくり
理科:ノートをまとめる、図鑑を読む、身近な動植物の観察日記
社会:自分の住んでいる村や地域、県のことを調べる、歴史をまとめる

5 自学6つの約束!

- ①「日付」や「取り組む内容」を書きましょう。
- ②「取り組んだ時間」を書きましょう。
- ③「めあて・ふりかえり(一言感想)」を書きましょう。
- ④「ながら(テレビなど)勉強はしません。」
- ⑤「お家の人に確認してもらいましょう。」
- ⑥「宿題以外の勉強にチャレンジします。」

6つのことをチェックして、お家の人からノートの右下にサインをもらおう!



津奈木小学校 (高学年用)

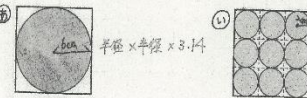
家庭学習(自学ノート)6つの約束

- ①日付を書きましょう。
- ②取り組んだ時間を書きましょう。
- ③めあて・ふりかえり(一言感想)を書きましょう。
- ④ながら(テレビなど)勉強はしません。
- ⑤お家の人に確認してもらい、サインをもらいましょう。(ノート右下)
- ⑥宿題以外に学習をしよう。

① (例) ② ③ ④ ⑤ ⑥

③ ④ ⑤ ⑥

④ 正方形の小さい正方形の内側にぴったり4つの円をかき加えました。このとき、大きな円の面積と小さな円の面積の合計は、どのような関係になっていますか? 円の半径をそれぞれ r と R とし、そのようになる理由をそれぞれの面積を実際に求めて確かめよう。



大きな円の面積は小さな円の面積の合計より大きい。
小さな円の面積は小さな円の面積の合計より小さい。
大きな円の面積と小さな円の面積の合計は等しい。

大きな円の面積 「大きな円の面積」	小さな円の面積の合計 「小さな円の面積の合計」
$6 \times 6 \times 3.14 = 113.04$	$2 \times 2 \times 3.14 \times 9 = 113.04$
答え 113.04 cm^2	答え 113.04 cm^2

③ ④ ⑤ ⑥

6つのことをチェックして
お家の人からサインをもらおう!

「家庭学習の手引き」を作成し、活用することで、家庭と連携しながら児童の家庭学習の充実と習慣化を図っています。

自主学習に取り組む時のきまりを「家庭学習6つの約束」と称し、低・中・高学年ごとに校内で統一し、実践することで、児童の主体的な学びにつなげられるようにしています。

「家庭学習の手引き」及び「自主学習の効果と自主学習ノートの良い例」を表裏でラミネートして全校児童に配付し、いつでも活用できるようにし、自分で計画を立てて学習できるようにしています。

家庭と学校が連携して、様々な角度から家庭学習へのアプローチを図ることによる、計画的な学習の習慣化に向けた取組
～人吉市立第二中学校～

学校総体として、帰りの会で授業と家庭学習との接続、計画表の作成と教育相談、家庭でのチェックと学校でのチェックに継続して取り組み、家庭学習の習慣化を図っている。

Gプロジェクト4.0
実施中

期末テスト

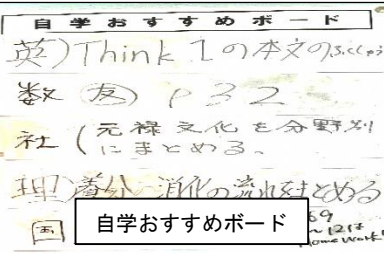
6月9日(水)～11日(金)

学習計画表が配付されていますので、ご家庭でも確認と励ましをお願いします。

がんばろう二中!



学校通信でお知らせとお願い



テスト勉強計画表&実践記録【1週目】

四連番号: ○○○○ 氏名: ○○ ○○

- ◆上の段…学習する予定の内容番号と時間、下の段…実際に学習した内容番号と時間(10分ごとに記入)
- ◆各教科の学習計画の合計時間を見て、見直しを持ってテスト勉強を進めよう。
- ◆平日120分以上、土日240分以上を自前に計画を立てよう。宿題や塾、教育相談中の自習時間も含めていいです。

例	国語
計画	① 60
実践	① 90

日	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	技術	家庭	体育	合計	保護者	担任
9	計画 1:20	1:60	1:40	1:20							140	A)B)C)	サイン
月	実践 1:40	1:60	1:40	1:20							160	A)B)C)	サイン
10	計画 1:30	1:60		1:30							120	A)B)C)	サイン
火	実践 1:30	1:60		1:60							150	A)B)C)	サイン
11	計画 1:40	1:60			1:30		1:30				160	A)B)C)	サイン
水	実践 1:50	1:60	1:10		1:30		1:30				180	A)B)C)	サイン
12	計画	1:20	1:60					1:40			120	A)B)C)	サイン
木	実践	1:20	1:40		1:10			1:50			160	A)B)C)	サイン
13	計画	1:30	2:40	1:30		1:20					120	A)B)C)	サイン
金	実践	1:40	2:40	1:30		1:30		1:20			150	A)B)C)	サイン
14	計画	1:60	2:60	1:60	1:40	1:20					240	A)B)C)	サイン
土	実践	1:60	2:60	1:60	1:40	1:20		1:20		1:20	280	A)B)C)	サイン
15	計画	1:40	2:60	2:40	2:60	1:40					290	A)B)C)	サイン
日	実践	1:40	2:60	2:30	2:60	1:50		1:30		1:20	290	A)B)C)	サイン
計画の合計	220	360	230	150	110		30	40	0	0	1140		
実践の合計	300	360	230	150					0	40	1390		

実際の学習計画表

授業の最後に、教科担当者は必ず「自学おすすめボード」を書いて生徒に提示しています。毎日の帰りの会では、その日の「自学おすすめ」を見ながら家庭学習の計画を立てる時間を確保しています。

定期テスト3週間前には、学習計画表作成の時間を設定し、毎日記録して、保護者にも確認をお願いしています。また、担任を中心に状況をチェックし、適宜指導・助言を行い、家庭学習の習慣化と充実を図っています。さらに、学習委員会がクラスごとの学習時間を集計し提示することで「見える化」を図り、学習へ向かう気運づくりに取り組んでいます。

第5章 【家庭と連携し、子供が自ら取り組む家庭学習〈子供編〉】実践例

授業の補充問題や発展問題を家庭学習とリンクさせ、家庭学習の質の向上を目指す取組

～宇城市立豊野小学校～

家庭学習において「とよのっ子ドリル」等を活用し、学校と家庭が一体となり、授業内容とリンクさせ、学習内容の定着が図られるように取り組んでいる。

とよのっ子ドリル

3・4年生用

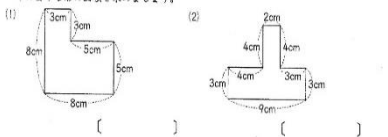


と：問いを発する力
よ：よく考え、学び合う力
の：望ましい未来を創る力

年 名前

問題の一例（算数）

下のよな形の面積を求めましょう。



めあて
し字型の面積の求め方を考える

まとめ
し字型の面積は長方形と正方形の和をもとにして考えると求めることができる。

とよのっ子ドリル

①式 $9 \times 9 - 5 \times 3 = 49$ 答え 49cm^2
②式 $2 \times 4 + 3 \times 9 = 35$ 答え 35cm^2

授業において、終末段階の多くで適用問題を行っています。その中には、補充的・発展的な問題も用意しており、家庭学習の個別化につながるようになっています。

また、県学力・学習状況調査の課題克服プリントや全国学力・学習状況調査の過去問題等を単元別にまとめた「とよのっ子ドリル」を、授業の内容の徹底と補充だけでなく、家庭学習としても有効活用し、学習内容の定着につなげています。

第5章 【家庭と連携し、子供が自ら取り組む家庭学習〈子供編〉】実践例

家庭学習（自主学習ノート）における、学びの連続性を確保するための小中連携した取組

～小国町立小国小学校・小国中学校～

家庭学習の内容が充実している自主学習ノートを模範として校内に掲示している。特に上級生のノートを下級生が確認することで、家庭学習のポイントやノートのまとめ方の工夫を学ぶことができている。児童生徒が家庭学習の取組に見通しを立て、計画的な実施により効率的に学習できるよう、小学校と中学校が連携して取り組んでいる。



【廊下に「おぐにっ子ノート」を掲示】

小中一貫した家庭学習を推進するために、家庭学習ノートのまとめ方を統一し、学びの連続性を確保する取組を行っています。

ノートに書く項目は、授業で学んだ内容はもちろん、その日の家庭学習における「めあて」と「振り返り」を記載する等、自己の学びを振り返る家庭学習ノートとなっています。

翌日の学校生活への見通しや計画を立てるために、時間割や準備物等を記載できる枠も設け、一日の生活を振り返るノートとしても活用しています。

第5章

【家庭と連携し、子供が自ら取り組む家庭学習〈子供編〉】実践例

児童の学びを支える、家庭学習習慣や読書習慣の意識付けを図る取組 ～益城町立津森小学校～

学習環境の整備、日常生活や学習規律、家庭学習の手立て等について、小学校から中学校の9年間を系統的、段階的に位置付け、木山中学校区全体で共通実践を進めている。

『四賢デー』～「0」のつく日は、ノーマディア・読書デー～(低)									
ねん なまえ()									
月	日	曜	ノーマディア		どくしょ		かていがくしゅう		保護者サイン
			00 200 400 600	800 100 1200 1400	かていがくしゅう		時間		
第1回	10	木	◎○△×	◎○△×	べんきょうしたこと		時間	40分	
第2回	30	水	◎○△×	◎○△×	おしやくたい		時間	35分	
第3回	8	30月	◎○△×	◎○△×	おしやくたい		時間	35分	
『四賢デー』～「0」のつく日は、ノーマディア・読書デー～(高)									
5年 名前()									
月	日	曜	ノーマディア		読書		家庭学習		保護者サイン
			00 200 400 600	800 100 1200 1400	かていがくしゅう		時間		
第1回	10	木	◎○△×	◎○△×	漢字プリント		時間	20分	
第2回	30	水	◎○△×	◎○△×	読書の楽しさを伝える		時間	1分	
第3回	8	30月	◎○△×	◎○△×	読書の楽しさを伝える		時間	35分	
第4回	10	金	◎○△×	◎○△×	読書の楽しさを伝える		時間	35分	

津森小学校（木山中学校区）では、「家庭学習の充実」、「読書活動・ノーマディアデーの推進」を共通実践しています。

家庭学習や読書の習慣を意識付ける取組とメディアコントロールの取組を関連付け、家庭と連携し継続的に取り組んでいます。児童が記録カードに取組状況を記録し、保護者の確認や担任のコメントにより、児童の実態を把握し、意欲を高めています。

学校では記録の集計と職員間での結果の共有を行い、児童や学級の状態を確認し、新たな手立てを講じていきます。